



Title	日本語・日本文化研究 第30号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 2020, 30
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/77718">https://hdl.handle.net/11094/77718</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 執筆者紹介（目次順）

山泉 実	(本学言語文化研究科日本語日本文化専攻講師)
小池 康	(本学言語文化研究科日本語日本文化専攻助教)
大和 祐子	(本学日本語日本文化教育センター准教授)
ベリディクロヴァ ニギナ	(本学博士前期課程 M2)
エルハディディ アブデルラフマーン	(本学博士後期課程 D3)
松浦 幸祐	(本学博士後期課程 D3)
道上 史絵	(本学博士後期課程 D3)
何 問民	(本学博士後期課程 D2)
アッタイエム タナポン	(本学博士後期課程 D1)
袁 故	(本学博士後期課程 D1)
ティルタラ アリン ガブリエル	(本学博士後期課程 D1)
楊 宇洲	(本学博士後期課程 D1)
ダサナーヤカ オーシャディ	(本学博士前期課程 M2)
高 子瑜	(本学博士後期課程 D1)

## 編集後記

『日本語・日本文化研究』第30号をお届けする。編集方針の新機軸として、再査読で2名の査読者の判定が分かれた場合、3人目の査読者にキャスティングボードを委ねることにした。急なお願いにも関わらず、査読を引き受けてくださった第三査読者の先生方（専攻外の先生も複数いらっしゃる）に謝意を表したい。

今年度11月20日に堀川智也先生が、そして、今年度末をもって真嶋潤子専攻長と小池康先生が退職なさる。また、日本語専攻の特任助教のポストの秦秀美先生も任期を終えられる。秦先生には2年間にわたって、本紀要の編集にも多大な協力をいただいた。小池先生には3年連続でご寄稿いただいた。皆様の今後の御健勝・御活躍をお祈りしつつ、編集後記を締めくくる。(Ym)

日本語・日本文化研究 第30号

令和2年12月1日

編集者：大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

『日本語・日本文化研究』編集委員会

発行所：〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

印刷所：〒531-0072 大阪市北区豊崎4丁目6番3号

株式会社 アイジイ